

ガンバレ!!まなびや

令和6年 9月14日(土)

第15号

通信担当: 横山 裕太

岡山自主夜間中学校運営委員会

がっきゅうつうしん
学級通信

おかやちゅう ~岡夜中みんなの声~

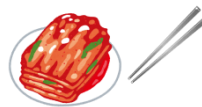
かんこく やかんちゅうがっこう しさつほうもん 韓国の夜間中学校を視察訪問



8月4日から6日まで、岡夜中の生徒さんとスタッフの有志で韓国の夜間中学校を視察訪問しました。今回の訪問は、岡夜中スタッフである河合さんが韓国の釜山大学師範大学の前学長である金先生とご縁があり、実現しました。韓国の夜間中学校はどんな学校だったのか、参加者から感想をいただいているので、皆さんに紹介したいと思います。

【生徒・河本さん】

2024年8月4日から6日まで韓国釜山慶州の視察旅行に参加させていただきました。大変意義ある充実した3日間でした。4日の朝、岡山発8時9分の新幹線に乗り、福岡へ。福岡発11時55分、釜山着13時前でした。1時間足らずの到着にびっくり。元釜山大学の学長・金先生が出迎えてくださり、入国から出国までずっと行動を共にしてくださいました。言葉では言い尽くせないほどの感謝でした。着いたその日から帰る日まで各施設を訪問しました。4日「釜山女性家族」と「生涯教育振興院」、5日「慶州翰林中学校」「釜山教育長」、6日「数学文化館」行った先々で歓待してくださいました。学びが多い旅行で、食べ物は最初から最後までおいしかったです。いい経験をさせていただきありがとうございます。



【スタッフ・江田さん感想】

今回の韓国の視察は、釜山大学師範大学元学長の金先生のご尽力のお陰で、平生は訪問させていただけないような教育機関の訪問及び、重要な立場で国の教育の発展に携わっておられる多くの方達と親睦を深めることができた、大変有意義な視察旅行でした。金先生が釜山空港に迎えに来てくださり、3日間、車の運転手兼通訳として案内してください、言葉の通じない国での視察でしたが、安心して同行させていただくことができました。金先生はフットワークの軽い、とても気さくな方で、お陰様で、楽しい視察旅行となりました。今回の視察で一番感動したことは、慶州の夜間中学校でお聞きした、夜間の生徒の教科書は生徒の学力に合わせて教員が創っていると言われたことでした。生徒を勉強できるようにしてあげたいという先生方の情熱に大変感動いたしました。この視察を通して、自主夜間中学の今後の運営に対して参考になる多くのことを学ぶことができました。同行させていただいたことを深く感謝いたします。



【スタッフ・河合さん感想】

訪問した韓国の夜間中学校は、ハンリン夜間中学といい、韓国の慶州にあります。慶州は日本の京都・奈良のような古都ですが、高層建築が全くありませんし、屋根も古の瓦屋根で、昔の趣そのままの美しい景観のところでは、一方釜山の郊外は数十階建ての高層マンションが林立し、その数、ざっと見ても岡山の数十倍といった感じでした。ハンリン夜間中学は岡山自主夜間中とよく似て、慶州のバスターミナルの向かいの建物の三階にありました。しかし、すでに創立五十周年を迎えており、その立派な記念誌を頂きました。教室にありますのでご覧ください。応対して頂いたスタッフの方は、三名とも女性、韓国では数学の先生も女性が多いというのは知っていましたが、ここでも女性が活躍されているようです。岡山自主夜間中に比べ、公的な資金の援助はあるというところでしたが、とても十分な額ではなく、運営費の調達には苦勞していると、高高校長先生は、涙ながらに語っておられ、五十年の歴史の卒業生からの寄付が有り難いとしみじみ言っておられました。



ぜんこくざいにちがいこくじんきょういくけんきゅうしゅうかい さんか 全国在日外国人教育研究集会に参加しました



8月12日から14日まで、神奈川県横浜市で第43回全国在日外国人教育研究集会が開催され、岡夜中から多くのスタッフが出席しました。この会を主催している全国在日外国人教育研究協議会は、日本に住む外国につながる児童・生徒の教育が保障され、彼（彼女）らが周囲と共に健やかに成長できる学校・社会を旨とし、日本社会の排外と差別、同化と抑圧を克服する教育実践を創造し、多文化共生の教育を確立することを目的として実践交流などの活動をしています。研究大会に参加し、多くの学びや気づきがありました。以下、参加したスタッフからの感想です。

【スタッフ・野原さん感想】

全外教の大会に参加するのは2回目になります。参加して思うことは性別、人種、年齢、出身地、職業などによって生じる差別が、なぜ無くなるのかということです。理由もなく人が差別をされることが我慢できません。今大会は、川崎ふれあい館の館長である崔江以子さんのお話には衝撃を受けました。終わりが見えない誹謗中傷、殺害予告など生活を脅かす被害を日々感じながら戦っておられる、そしてその母親の姿を見て「こんなことは間違っている」と訴えている息子さんの動画を見て、心が痛くなりました。日本に住んでいる人、すべての人が差別を受けることなく生きていける世の中になるよう、一人の力は小さいかもしれませんが心にしっかりと焼き付けておこうと思います。

【スタッフ・宇野さん感想】

外国にルーツをもつ生徒の声や取り組み、教職員の方々の取り組みなど、さまざまな発表を拝聴し、とても意義のある時間を過ごさせていただきました。改めて差別や偏見というのは、無関心や無知によって作られた先入観や固定観念から起こってしまうものであるため、接する我々が現状を知り、声なき声を聞き取り、多くの人々へ伝えていかなければ差別や偏見をなくす一歩は踏み出せないと思いました。なお、来年度の岡山大会の開催に向け、取り入れてほしいこととして、当事者同士だけでなく、外国にルーツをもたない生徒との交流や議論の場を設けてみてはどうか？専門的な用語が多く、初学者には少しハードルが高いため、参加者に向けた事前学習などがあってはどうか？の二点があります。以上を踏まえ、次回は岡山大会です。大会の成功のため、皆さん頑張りましょう！

【スタッフ・秋山さん感想】

全外教に参加し「多文化共生」をテーマにいろいろ感じました。マジョリティがマイノリティを「受け入れる、支援する、適応させる」などという単語がそもそも上から目線、マジョリティの無思慮？たしかに・・・マイクロアグレッション（小さな攻撃）という概念を知り、何気ない一言がダメージを与えてしまう実情を知ることができました。生徒さんや社会で活躍されている若手の発表は、柔らかく素直で前向き、未来への希望を感じます。とくに、仲間づくりの作り方を身に付けているな、と頼もしく感じます。一方、大人の皆さんのお話は、とても硬い印象を受けました。日頃の立場と責任、理不尽な攻撃への対処など、日々の大変なご苦労が伺えます。が、若い世代の「柔らかさ」も忘れずにいたいなとも思います。多文化共生は簡単に進むものではないですが、目指すべきことであることは間違いありません。日々、自省しながら隣の人に呼びかけていく、そんな態度が大事なのかなあ？と思います。あからさまな差別などはもちろん、上から目線、小さな攻撃なども感じたら、「それ、おかしいよ。」と言ひ合える環境を作りたいですね。

こんご ぎょうじ よてい
今後の行事・予定

○ 一斉授業

9/28 (土)

1時間目 交通について (双原先生)

2時間目 歴史 (深澤先生)

